



仙台市立八木山小学校

協働型学校評価の目標

～自分に花丸！・みんなに花丸！～

【思いやりや感謝の気持ちを持って関わり合う児童の育成】

八木山小学校は今年、昭和46年の開校から50周年の記念の年を迎えました。コロナ禍で何かと制限のある中でも、子供たちが明るく楽しく安全な生活を送れることを念頭に置き、学校や地域の方々と協力して活動を行っています。



※開校当時の小学校



校長 後藤景子




PTA 会長 田中良和

【校章】 中央に、伊達家の紋『たて引き両』をかたどり仙台市の小学校を表し、下部の親鷹(教師・親)と上部左右の子鷹(児童・子)によって丸くおさめられ、『融和と協調』をもって学校を盛り上げている様子を表現しています。



子の鷹は、八木山の『八』をかたどり、親の鷹は、八木山の『山』をあしらっています。

【校木】 校庭東側に高くそびえたつメタセコイヤ。落葉性の針葉樹で、樹形は端正で美しいことから、この木のよう
に、児童の心と体がすくすくと、まっすぐに育つことを願って植えられました。堂々と空に向かって大きく伸びた幹は、校庭で遊ぶ児童を、いつも温かく見守っています。

【八木小のシンボル】～ジャンボすべり台～



もうひとつ忘れてはならない八木小のシンボルは赤と緑、2基のジャンボすべり台。山の地形を活かして作られ、長さは約17m、高さは階段40段分にもなります。

休み時間になると、子供たちが次々と風を切って滑る様子は本当に楽しそう！コロナに負けない、元気な子供たちの格好の遊び場です。

【50周年記念事業】～八木山小学校創立50周年記念LEDイルミネーション～



10月2日(土)、台風一過の格別に澄んだ空のもと、16:30から開催され、約800名の子供たちや保護者が自分たちでイルミネーションを設置、点灯する『参加型』のイベントとなりました。感染症対策を十分に行い、八木小バンドサークル「夢色音楽隊」のCDによる演奏が流れる中、小学校、おやじの会、八木山中学校、八木山地区まちづくり研究会など、多くの方々の協力により実施されました。使用された900個のLEDの光は、さながら地上を彩る星空のよう。美しく幻想的な

空間が校庭に広がりました。上空からはドローンで撮影され、地上に浮かんだ八木山小学校50thの文字を映し出しました。50周年記念事業は他にも、6年生による記念植樹や校内放送による記念式典が催され、それぞれに素敵な思い出の1ページを心に刻むことでしょう。当日の様子は八木山地区まちづくり研究会のHPにて詳しく紹介されています。ぜひご覧ください。<https://machi.yagiyama.jp/イルミネーションの写真>

